

○学校部活動地域展開実証事業における課題について

項 目・課 題		現 況 等
1 経費関係 (1) 指導者資格取得に係る受講料等の負担について	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・文化・スポーツ振興財団の助成の活用を周知し資格取得をサポートします。 ・専門的な資格については、今後の状況を見ながら検討します。
(2) 生活困窮世帯に対する支援について	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・就学援助対象世帯については、実質的な負担が生じないように必要な措置を講じます。
(3) 会費の額について ⇒受益者負担の水準については、国において金額の目安を示すとされている。(部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン)	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・国のガイドラインでは 1,000円～ 3,000円程度(状況により 4,000円まで)と示されています。
(4) 施設利用に係る減免対応について	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に公共施設の利用を考えているため減免対応します。
(5) クラブ立ち上げ時の費用負担について	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費等は国の補助金の補助対象となりますが、補助額については上限があります。 ・各地域クラブにおける状況を見ながら必要な措置を検討します。
2 クラブ運営関係 (1) クラブにおける指導者数の上限について	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・国の補助においては3人以上の配置も想定されていますが、補助単価が設定されていることから、参加費と参加生徒数の状況により対応が異なってきます。 ・指導者数については、各地域クラブの状況を見ながら検討します。
(2) 無断欠席する参加者について	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブアプリを導入し連絡が取れるようになりました。
(3) 保険料の取扱いについて(複数クラブ所属の場合)	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・複数のクラブに所属した場合は、加入クラブごとに保険料の支払いが必要となります。
(4) クラブまでの送迎について		<ul style="list-style-type: none"> ・親等の送迎又は自分で移動
(5) 指導者の研修について	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブアプリによるWeb研修を導入しています。
(6) 参加人数が少ないクラブの運営について	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・国の補助金では5人未満の地域クラブは補助対象外となっていますが、市においてどのように取り扱うかは検討が必要
(7) ケガ等に対する責任について	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・保険の範囲内のみ対応となります。 ・後々のトラブル防止のためにも、各地域クラブの規約にも記載することが望ましいと考えます。
3 その他 (1) 平日展開に向けた施設整備について ・夜間照明等	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・現状では施設整備に係る国の補助金などはないことから施設整備は難しい状況です。
(2) 学校との連携	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・市教育委員会(生涯学習課)が窓口となり、地域クラブと学校の連携体制を構築します。 ・いじめ等の事案に対する相談体制を構築します。